

ふ か う ら

議会だより

第75号

令和5年11月24日発行

目次 CONTENTS

第127回定例会	
定例会日程	2
令和4年度 まちの決算	4
決算審査！ここをチェック	8
わが町のここが聞きたい	13
豪雨災害の復旧と今後の対策は	
今 勝吉議員	14
遺産のすばらしさを今後も	
大高恒蔵議員	16
どう対処する空き家を	
八木 史議員	18
議員全員による行政視察ほか	22
第128回臨時会、第129回臨時会	24



十二湖（王池東湖）の紅葉・レッツ！ふかうら中央児童クラブ

令和4年度 まちの決算 一般会計75億円 歳出決算を認定



監査委員
岩谷 司



代表監査委員
熊谷 孝

令和4年度の一般会計の決算額は歳入78億6763万円に対し、歳出75億8875万円となり、繰越財源を差し引いた実質収支は1億6373万円の黒字となりました。

歳入の寄附金は、ふるさと納税寄附金（企業版及び災害含む）が約9150万円となり、前年の約2倍の増となりました。

歳入の町税は、固定資産税の償却資産などにより、1・86パーセント増加した。町税の徴収率は、前年度から0・5ポイント増加の95・7パーセント。今後一層の収納努力を期待する。

歳出については、予算執行における経費節減、合理化対策などが浸透し、効率的な運営が年間を通じての監査状況からも伺える。また、臨時生活支援給付金などにより、補助費等が12・9パーセント増加に加え、災害復旧事業費の大幅な増額で歳出全体で2・6パーセント増加となった。

財政の弾力性を示す経常収支比率は、前年度から1・4ポイント上昇し、92・2パーセントとなった。これは地方交付税及び臨時財政対策債の

減少が主な要因と考えられる。限られた財源の中で様々な行政課題に取り組むために、創意と工夫、事務事業の精査と見直し等により効果的かつ効率的な行政運営を期待する。

**限られた財源で創意と工夫
効果的かつ効率的な運営に期待**

監査委員の意見

【最後に…】

人口減少・少子高齢化をはじめ、輸入資源価格の高騰、気候変動問題といった環境変化による災害の頻発化などといった数々の難局が押し寄せる中、町勢の浮揚を図るための取組を継続するとともに、迅速かつ的確に事業の優先度緊急性を考慮しつつ、時機を失することなく思い切った政策を展開することを切望する。



深浦町議会 第127回定例会

第127回定例会は、9月8日から15日まで8日間の会期で開かれました。一般質問では3人の議員が登壇し、町政運営の課題をたどしました。また、町長から補正予算や条例関係などの議案12件、報告9件が提出され、採決の結果、すべて原案のとおり可決・承認されました。令和4年度決算は、一般会計、特別会計など決算に関する特別委員会を設置し、集中審議の結果、全ての会計などを認定しました。

9/8
(金)

・全議案一括上程
・提案理由の説明



提案理由等の動画が視聴できます。

9/9
(土)

9/10
(日)

・休会

9/11
(月)

・一般質問



今 勝吉



大高 恒藏



八木 史

・決算に関する特別委員会設置



委員長 岩根 環



副委員長 今 勝吉

9/12
(火)

9/13
(水)

・決算に関する特別委員会

9/14
(木)

・休会

9/15
(金)

・議案審議、採決



議案審議等の動画が視聴できます。

決算

豪雨災害による復旧関係

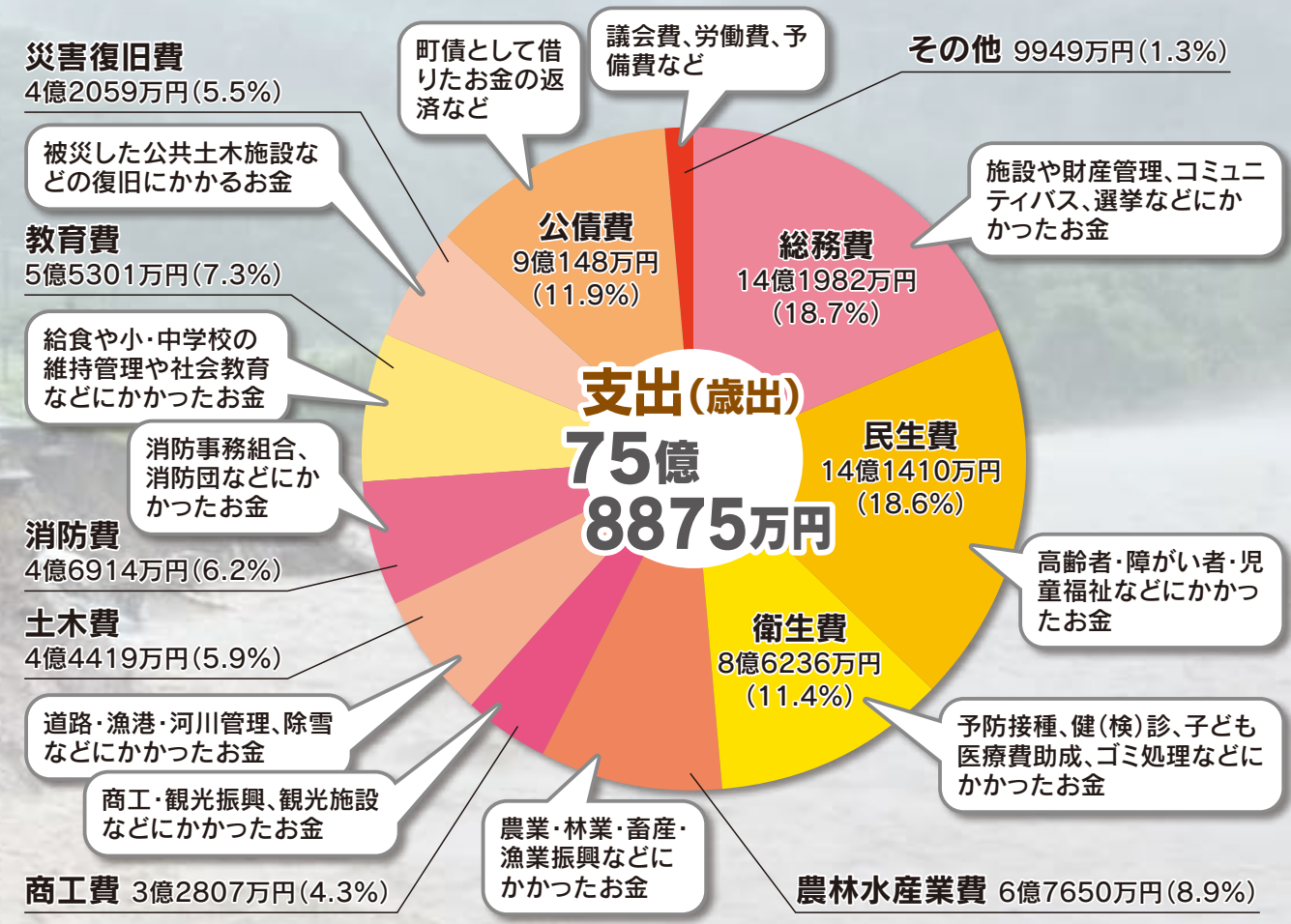
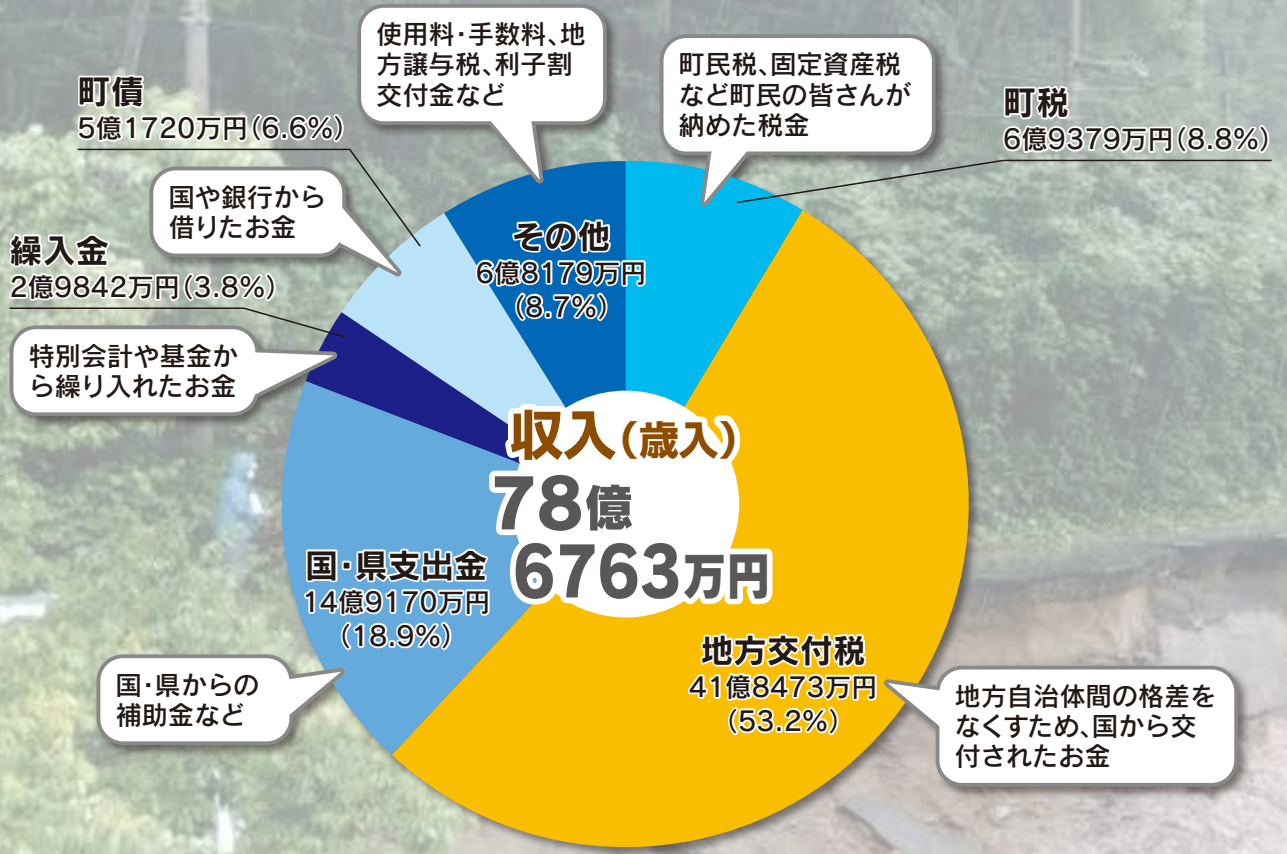
37億3439万円

一般会計歳出75億8875万円

令和3年度比 2.6%増

※千円単位を四捨五入して表示しています。

一般会計決算の内訳



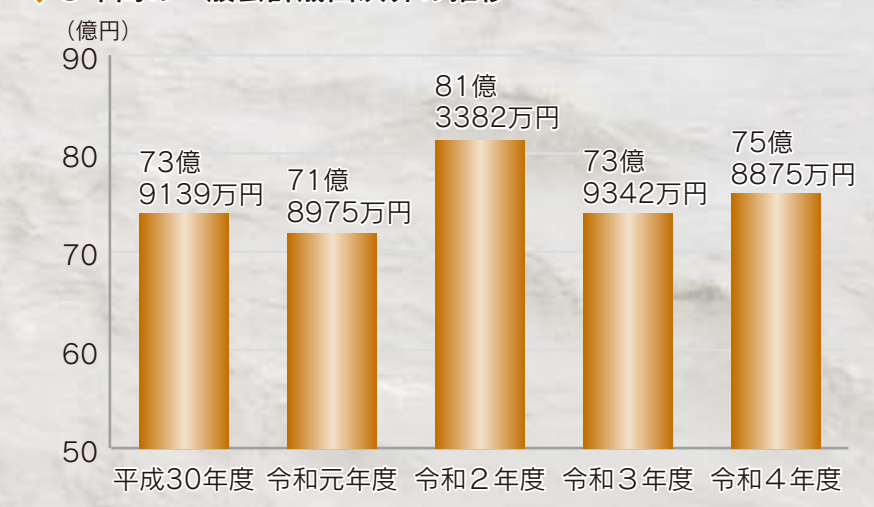
◆議案第1号から第7号まで 一般会計・特別会計決算

会計区分		歳入	歳出	差引
議案第1号 一般会計		78億6763万円	75億8875万円	2億7888万円
特別会計	議案第2号 国民健康保険事業 (事業勘定) (直診勘定)	11億264万円 2億9057万円	10億6997万円 2億7441万円	3267万円 1616万円
	議案第3号 後期高齢者医療	1億5712万円	1億5485万円	227万円
	議案第4号 介護保険	16億42万円	15億1574万円	8468万円
	議案第5号 訪問看護ステーション	1724万円	1503万円	221万円
	議案第6号 下水道事業	2億6965万円	2億6318万円	647万円
	議案第7号 財産区	59万円	0円	59万円

◆議案第8号 水道事業会計決算

会計区分		損益計算書		貸借対照表	
企業会計	議案第8号 水道事業	給水収益	1億4977万円	資産の部	49億5055万円
		経常利益	548万円	負債の部	38億4421万円
		当期純利益	597万円	資本の部	11億634万円

◆5年間の一般会計歳出決算の推移



令和4年度 一般会計決算

歳出の主なもの

町の予算がきちんと執行されたか、決算に関する特別委員会で慎重に審議し、すべての会計決算を認定した。その中の一般会計歳出の主なものをご紹介します。（P8～12に関連記事）

決算額は、令和4年度のみ金額であり、全体事業費ではありません。複数年度事業もあります。また、金額は千円単位を四捨五入しています。

4284万円

予防費

新型コロナウイルスワクチン接種

新型コロナウイルス感染症の重症化を防いだり、発症を防ぐ効果のあるワクチン接種を実施した。

37億3439万円

災害復旧費

公共土木施設等の災害復旧

昨年の8月豪雨で被災した公共土木施設などの復旧に伴う応急対策業務、測量設計、支援補助金、工事を実施した。

2812万円

商工振興費

抽選会付全町大売出し・プレミアム付商品券発行

新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けた地域経済の活性化のため実施した。

2530万円

農業振興費

大館畑作総合施設さく井工事

昨年の8月豪雨で水源設備が被災したため、井戸を大館畑作総合施設敷地内に整備した。

1億4741万円

社会福祉費

臨時生活・価格高騰支援給付金

物価高騰による住民の負担軽減を図る目的で1人1万円、また低所得世帯1世帯5万円を給付した。

1億3189万円

庁舎管理費

役場庁舎空調設備等整備

来庁者の快適性及び職員の執務環境向上等を図るため整備した。

1445万円

子ども・子育て支援事業費

青森県子育て世帯臨時特別給付金

新型コロナウイルス感染症が長期化する中で物価高騰に直面する子育て世帯を支援するため児童1人当たり1万5千円を給付した。

●農林水産業費	●土木費
・トマト選果機品質センサー機購入	・十二湖公園線舗装補修工事
1452万円	875万円
・全自動梱包機購入	・北金ヶ沢13号線塩見形橋補修工事
1738万円	1740万円
・燃油等補給施設整備費補助金	
880万円	
●商工費	●教育費
・アオーネ白神十二湖コテージ外壁・建具改修工事	・深浦中学校教員住宅屋根等改修工事
1157万円	1263万円
	・深浦小学校大規模改修工事
	9546万円

【歳出の主なもの】

●総務費

・庁舎照明LED化改修工事

1098万円

・コミュニティバス実証運行業務委託料

1101万円

●民生費

・認定こども園給付費・保育所運営費

2億3730万円

●衛生費

・子ども医療給付費

1287万円

・健診・がん検診委託料

1645万円

●地域子育て支援センター・一時保育・延長保育・病児保育委託料

1289万円

5157万円

観光産業振興費

全国版・町宿泊キャンペーン及び町民宿泊割補助金

新型コロナウイルスの感染拡大で影響を受けた町内宿泊施設や小売業・飲食業等を支援するため実施した。

【夏のイベント】
ビアガーデンなど
開催できないか

問 斉藤委員
キッチンカーなどを集めて
8月10日から14日辺りまで、



答 堀内総務課長
解体して更地になると、それまで適用されていた小規模住宅用地の6分の1の減額特例が適用となくなると。それに対して町で何年かでも固定資産税を減免し、その後、通常の固定資産税にすることができると、調査検討したい。

【防災無線】
テスト放送いつ頃まで

問 藤田委員
防災無線のテスト放送1日何回で、いつ頃までやるのか。

答 堀内総務課長
新しく防災システムを導入するに当たって、スピーカーの業者から音の改良等のテスト放送に対し、なかなか承諾



答 神林観光課長
今後、花火大会の実行委員会があるので、今の意見も含め来年度の計画など考えていきたい。

【漁業集落排水】
北金ヶ沢地区の
加入促進を

問 八木委員
北金ヶ沢地区の漁業集落排水への加入率が8パーセント、1割にも満たっていない。これで事業が成り立つのか。確かに建設に17年もかかり、その間一人暮らしや、高齢者世帯が増えたが、それ以外の世帯

答 松沢建設水道課長
建設当時は下水道の整備を望んでいたものが、建設期間が長くなることで、その意識も薄らいできたということ、高齢者世帯がその間増えて、住宅の改修まで及ばないといった意見も耳にする。



してくれる自治体がないとの相談もあり、テスト放送に協力することで200万円相当のスピーカーが無償で貸与できる条件もあつたことから承諾した。ただし、いつまでという期限を付けてやっているものではないので、今後、業者とは交渉していく。



昨年、住宅リフォーム事業での下水道接続における補助率や補助金額を増やし、加入促進を促してきた。今後の取組として、リフォーム補助金のPRや合併処理浄化槽を設置する際に交付した補助金で取り交した下水道に接続する宣誓書をもとに再度接続のお願いをしていく。

問 今委員
国道、町道を見て、中央も脇も、白線・黄色い線がみんな消えている。最悪なのは横断歩道まで。最近、大型トラックなどがすぐ通るから危険を感じる。学校終わった後の子供たちの安全のため、交通事故があつてからでは遅いと思うのだが。

答 松沢建設水道課長
建設当時は下水道の整備を望んでいたものが、建設期間が長くなることで、その意識も薄らいできたということ、高齢者世帯がその間増えて、住宅の改修まで及ばないといった意見も耳にする。



▲町内の至る所の黄色いセンターラインが消えている

答 松沢建設水道課長
関係者を含めて、しっかりと点検して対応したい。国道は県、それから町道は町、交安

【国道・町道】
センターラインなどが
消えて危険

問 今委員
国道、町道を見て、中央も脇も、白線・黄色い線がみんな消えている。最悪なのは横断歩道まで。最近、大型トラックなどがすぐ通るから危険を感じる。学校終わった後の子供たちの安全のため、交通事故があつてからでは遅いと思うのだが。

決算審査！

ここを
チェック

令和4年度歳入歳出決算・
令和5年度補正予算などを審議

決算に関する特別委員会



副委員長
今 勝吉



委員長
岩根 環

決算に関する特別委員会は、委員長に岩根議員、副委員長に今勝吉議員が選任され、9月11日から13日までの3日間にわたって、付託された議案第1号令和4年度深浦町一般会計歳入歳出決算から議案第20号西北五環境整備事務組合への加入の件までの議案20件、報告第1号専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件1件、合わせて21件について審査しました。

審議の過程では、各般にわたり十分に議論が尽くされ、多くの意見・要望事項が提言されました。

令和4年度決算 委員はここに注目

答 竹内深浦診療所事務長
各々の国保・社保の負担割合に応じて自己負担が発生する。

問 鶴田財政課長
国から数億円を超えるコロナ交付金が交付され、ほぼ全て活用している。今回の補正予算にも今年の方は計上して

問 岩谷委員
コロナウイルスが第5類に引下げになった。もしコロナにかかった場合の医療費は、国保であれば3割負担ということか。もし深浦町民で重症化した人が出た場合は、町からいくらかでも医療費を出す考え方はあるものか。コロナ関係の交付金の中で、まだ使える予算はどのくらい残っているのか。

【コロナ医療費】
町からも
負担できないか

質疑応答

問 斉藤委員
空き家を解体すると、固定資産税が高くなると聞くが、例えば町で解体後も引き続き何年かでも固定資産税を減免できる取組をすれば、少しでも空き家の解体が進むと思うのだが。

【空き家対策】
解体後の税金
何年か減免できないか



答 吉田町長
いろいろな形で町の支援の仕方もあると思うので、担当課等々ときっちり詰めていく。

問 今委員
千畳敷センターの隣りは何かの施設だったのか、お店だったのか。風が強いと国道に建物が崩れそうな感じがする。観光に来た方々を暗い気持ちさせるのもかわいそうだ。また、千畳敷駅にせっかくリゾート列車が停まるのに。何とかならないものか。空き家なのか早急に調べてほしい。

【千畳敷の廃屋】
空き家なのか調べて



捨てではないので、農業者の皆さんには将来の憂いのないように、この加入を勧めていきたい。

問 八木委員
日赤の社資、日赤の活動資金ですが、今まで民生委員が交通災害共済と共に毎戸訪問して集めてきた社資が、今年から自治会または個人納付になったようだが、納付額と達成率は。また、個人が窓口で納入した件数は何件か。

【日本赤十字】
日赤社資の納付額等は



▲千畳敷の廃屋

答 堀内総務課長・神林観光課長
空き家かどうかも含めて、調査してみたい。

問 八木委員
子宮頸がんワクチンの接種者が、令和4年度から126人と増えているが何で令和4年から増えてきたのか。

【子宮頸がんワクチン接種】
なぜ急に接種者が増えたの

答 八木橋健康推進課長
予防接種の対象が、小学校6年生から高校1年生までの女子。ただ、平成25年6月から副反応の問題によって厚生労働省から接種の勧奨を控えるようにと通知があり、積極的な接種勧奨を控えていた。その後、厚生労働省から接種に関する有効性が副反応のリスクより上回るということが認められて、定期予防接種の再開が可能となったことから、令和4年4月から再開した。この再開に伴って、勧奨を控えた方も含めて対象となり、全員に接種勧奨の通知をした。

答 赤石福祉課長
日赤社資の目標額は、令和4年度は190万3千円だったが、人口減少等もあって、令和5年度の目標額は155万円に減額となった。これに対して徴収した額が、令和5年度95万4950円、達成率が61・61パーセント。窓口で納付した件数は65件の4万7500円となっている。

問 藤田委員
海中ドローン本体及び周辺機器を購入しているが海中調査をしたのか。



【水中ドローン】
海中調査はしたの

問 八木委員
2530万円かけて井戸を掘り当てた。今までこのトマ



▲水中ドローンで撮った海中

答 山本農林水産課長
議会の産業建設常任委員会でも度々ナマコの放流、あるいは人工ふ化したナマコの追跡などの調査があったので、水中ドローンを購入して海底の調査を実施した。今年の春、北金ヶ沢、田野沢、舩作漁港内、後は深浦港で水中ドローンによる確認をしたが、ナマコは確認できなかった。



▲改修予定の看板

答 神林観光課長
今回の9月定例会で一般会

問 八木委員
たくさん観光看板がある。看板の状態で、観光への力の入れ具合が分かると言われている。大分朽ちた看板や、もう既に廃止されている施設への誘導看板がある。早急に改善していただきたい。

【観光看板】
修繕や廃止が必要なのは

委員会も多分関わっていると
思つので、関係者と連絡を密にしながら対応していく。

問 八木委員
深浦駅を降りると左側のコインランドリーしかない。多くの観光客は、右側の大岩方面に歩いて向かつて行き、コンビニに寄るといった程度。ぜひ、町で購入した駅真正面の小さい土地の利用を検討していただきたい。

答 神林観光課長
深浦駅前の土地の件については、調べて何か対応したい。

【深浦駅前の土地】
観光客のため利用検討を

計の補正予算として看板の修繕料を計上した。議決後、早急に看板の改修をしたい。

問 八木委員
厚生労働省では1日当たりの食塩摂取量を現在の10・1グラムから7グラムに目標値を減らすようだが、町では今まで食生活改善推進委員などいろいろ事業を進めてきたが、今後、国の目標値へどう取り組むのか。

【生活習慣病予防】
国の目標値へどう取り組むのか



▲町が購入していた土地

答 八木橋健康推進課長
減塩の取組については、乳幼児健診で離乳食や幼児食の減塩指導、中学生の生活習慣病の予防健診の結果をもとに個別支援を行っている。
成人へは、特定健診を受けた生活習慣病の発症リスクが高い方に対して支援を行っている。また、栄養士が特定健診やがん検診の会場で減塩の試食の提供を行っている。食生活改善推進委員と栄養士が地区の栄養教室で減塩等の調理実習や健康教育も行つて普及啓発に取り組んでいる。そのほかにも、コロナ禍のためここ数年実施していなかったが、家庭訪問による味噌汁塩



答 山本農林水産課長
4年度末で58人、平均受給額は、年額で28万円ほど。過去5年間の加入状況を見ると、平成30年度0人、令和元年度2人、令和2年度2人、令和3年度1人、令和4年度0人。多くが40歳以上から加入している。農業者年金は国民年金に上乘せする、あくまでも任意の年金。ただ、一方で掛け

問 八木委員
深浦町で今、農業者年金受給している人は何人いるのか。また、1人当たり年間どのくらい受給しているのか。それと、これから新たに加入するという人はあるのか。

【農業者年金】
受給者は何人新規加入はあるの

分測定を今年度は実施する予定。
減塩については、生活習慣病に直結するので、今後も継続して取り組んでいく。

第127回定例会

一般質問

わが町の こころが 聞きたい

一般質問とは、議員が町の行政全般にわたり、執行機関に行政財政の運営や現行の政策、将来に対する方針などについて考えを質し、報告や説明を求め、より良い方向へ導くものです。

豪雨災害の復旧と今後の対策は

今 勝吉議員



遺産のすばらしさを今後も

大高恒藏議員



どう対処する空き家を

八木 史議員



ト団地でいろいろ水を探してたけど、なかなか出なかった。今回どういう調査をして井戸を掘ったのか。

【答】 山本農林水産課長

大館の畑作、トマト団地に井戸を掘った経緯は、去年の8月3日の大雨で水源地が埋まってしまい、そこからくるパイプも崩壊してしまったことから井戸を掘った。特段の調査はやってない。水道施設の井戸があるので、ボーリング会社と共に現地の状況から出る見込みがあると判断し、貯水槽があるその隣に掘ったところ、1時間当たり21トンという豊富な水で出た。

※本文に關係する画像が7ページに掲載されています。



【ナラ枯れ】
町の役割、関わりは

【問】 八木委員

轟木から広域農道を通れば、左右に茶色くなっている木がいつばいある。ナラ枯れだと思つ。令和2年には4万何本も処理している。このナラ枯れに対しての町の役割、関わりは、どういふうなのか。

【答】 山本農林水産課長

ナラ枯れそのものの対策、処理は県事業になる。町の役割となると、地上からの目視などによりナラ枯れと思われる木あれば県に報告する。



▲伐採し薬剤処理した丸太(松神地区)

【北金ヶ沢埋立地の
トイレ】
考えてくれているの

【問】 大高委員

北金ヶ沢の老人クラブが埋め立てのテニスコートでグラウンドゴルフずっとやってきたが、7月の中過ぎてからはやれない状態が続いた。なぜか、暑すぎて水分を摂るとトイレに行きたくなり、家のトイレに行くとして戻ってこない。去年、北金ヶ沢の海浜トイレが突然なくなつて、それに代わるトイレについて質問したが、考えておくという話だったが、どうなったものか。

【答】 鶴田財政課長

その後、様々検討はした。



現状だと、近くで漁協のトイレを借りることになっている。まずは仮設トイレなども頭に入れながら、何とか設置できないか検討したい。

【町民体育館の設備】

PCBの処理は設備を活用した訓練は

【問】 福沢委員

町民体育館のLED化に当たり、古い照明器具に低濃度のPCBが使用されているかどうか調査をしたか。この度の補正予算に、このPCB処理費が入っているのか。それと、町民体育館と武道館には太陽光発電設備と蓄電池設備が設置されているが、定期的な訓練等をやっているのか。

【答】 熊谷教育課長

今付いている安定器1個を調べたところ、低濃度PCBが入っている可能性が高いということが分かった。今回の補正予算には、PCBの処分費用は入っていない。

災害時を想定した訓練は、教育課ではしていない。

【答】 堀内総務課長

太陽光パネルの蓄電池を活用した訓練は今現在行っていない。今後考えていきたい。



わが町のここが聞きたい

発達障害の子供への
教育支援は

問 今議員

①本町での発達障害のある児童生徒に対する教育支援の現状は。
また、今後の教育支援の取組は。

②発達障害のある子供に対する就学前健診の現状と課題は。

答 町長

①教育支援委員会で、障害の種類や程度を把握し、公認心理士による専門検査の結果や各保育園、各小中学校からの調査票などを参考に、教育支援内容を決めていく。また、保護者と面談をし、教育支援委員会が決まった支援内容等を丁寧に説明し、保護者の要望なども同時に確認している。今後も継続して、各学校や関係機関と情報共有しながら、適切な支援の対応を行ってきたい。

②毎年11月頃、小学校に入る

予定の子供全員を対象に健康診断のほか、知能検査も行っている。現時点では、特に問題が起きていないので課題等はない。



花火大会の評価と展望は

問 今議員

①白神山地世界自然遺産登録30周年記念事業として実施した海上花火大会の状況は。
②新しいスタイルのイベントとなったようだが、トータルでの評価と今後の展望は。



▲交通渋滞が発生するほど大勢の観客を集めた海上花火大会



答 町長
①実行委員会からは、花火以外にも、懐かしの露天商や県内でも人気のキッチンカーを呼ぶなど新しい取組にもチャレンジし、来場者はおよそ1200人であったと報告を受けている。
②テントの数や提灯、電気設備等の大幅な削減をした。その結果、会場設営や撤収など、猛暑での作業も大幅に軽減がされ、スッキリとした印象の会場は、来場者などからもそれなりの評価だったと報告を受けている。新年度に向けて、事業の内容とその継続性について真摯に検討していきたい。

スマートフォンなどで手軽に議会がご覧になれます

議会だより第70号から、一般質問等のページにQRコードを掲載しています。スマートフォンやタブレットのアプリ等を使いQRコードを読み取ると、各議員等の録画映像が簡単に視聴できます。

ぜひ、ご利用とチャンネル登録をお願いします。



YouTube
「深浦町議会チャンネル」

わが町のここが聞きたい

豪雨災害の復旧と今後の
対策は

答

5年度の被災規模121箇所14億5710万円
近隣市町で連携強化 国へ働きかける

こん
今かつよし
勝吉 議員

問 今議員

①昨年の豪雨災害の復旧状況と今年7月の大雨被害の状況は。

②今後想定される大規模災害に備えた交通体系は。
また、緊急時の防災無線の活用は十分と言えるか。

答 町長

①令和4年8月豪雨による被災規模は、国の災害査定箇所121箇所、査定額14億5710万円。令和5年7月末の復旧工事の契約済額は、10億815万円（69・2パーセント）で、そのうち工事完了した額は8536万円（5・9パーセント）である。7月豪雨の被害額は、県の取りまとめで20億5735万円。更に、公共土木施設、農地農業用施設、林道を合わせた35箇所9億3300万円を国の災害査定に申請する予定。
②国道101号が分断され、医療や福祉、経済、物流、地域産業全般に悪影響を及ぼす重大さを再認識した。今後の

対応として、国道101号の強靱化、代替路線の整備実現がなんとしても必要である。7月に「国道101号整備促進期成同盟会」（能代市、八峰町、鰺ヶ沢町、深浦町）が災害時の相互応援、救急体制の充実や産業振興の連携強化のあり方を調査し、その実現や充実のため国に働きかけていきたい。
また、新システムの防災無線は、緊急時に迅速かつ安全に場所を選ばず発信できるものと、思っている。スマートフォン等で防災情報が受け取れるアプリの普及も高めていく。



▲今年7月15日の大雨で土砂崩れが発生。国道101号が通行止めとなった（大間越）▲

わが町のここが聞きたい

問 町長 4期やらせていただいて、政治家の出処進退は自分で決断を下すしかない。やり残したことはありません。だからと言って出馬の動機にならない。自分の体力と情熱など様々考えて、次の人へ譲ることも選択肢にあってもいいと思う。

答 町長 公約 経歴 政策

問 大高議員 吉田町政4期目も残りあと1年余り、当初掲げた3つの基本政策などに挑んできたが、医療の制度始めこれといった成果がみられず物足りないと感じる。残り1年で満足する成果は無理と思うので、あともう1期を務めてもらえないか。

答 町長 吉田町政を

問 大高議員 今夏の海上花火大会は、久しぶりに感動した。ぜひともう1日イベントを実施し夏祭りとして定着できないか。また、チャンチャン祭り、ねぶた運行などを復活すべきと思うが。

答 町長 この海上花火大会を持続的な祭りやイベントとして今後

祭りの復活を
真剣に考えて▲深浦ねぶた祭り合同運行の様子
(2012年8月5日撮影)▲チャンチャンと深浦牛まつりの様子
(2018年10月20日撮影)

構築できるか検討していく一方で、観光産業に限ったことではないが、マンパワー不足の影響とその解決策についても、関係部署や関係機関のほか、地域の皆さんとともに模索・検討していく。

修道小6年生が議場を見学しました！



10月26日に修道小学校の6年生7人が、校外学習の一環で議場を見学し、町議会の仕組みや議員の仕事について学びました。また、普段は入ることのできない議場で、議長席や議員席、町長席、傍聴席などに実際に座って、マイクを使った会議の雰囲気を経験しました。今度からYouTubeで議会の様子を観たいなどの声もあり、町議会をより身近に感じていました。



わが町のここが聞きたい

問 遺産のすばらしさを今後も

答 実施状況も見ながら十分に検討していく



おおたか つねぞう
大高 恒藏 議員



問 大高議員 ①世界遺産登録30周年を迎えた白神山地の今後について、今年度の事業を検証し、町民に世界遺産のすばらしさを認識してもらうイベント等を実施すべきと思うが。

答 町長 ①既に町内に30周年を祝する記念ポスターを掲示しているほか、おもてなしの意味を込めて「ようこそ白神山地の町・深浦へ」ののぼり旗を沿道に立てている。更に、「白神山地の水・青池ラベル」の制作や「海上花火大会」を開催した。また、「白神山地の町・ふかうら」のPRはもちろん、本町の魅力を再認識してもらうため、「観光写真コンテスト」を実施し、世界遺産登録

②日本遺産「北前船寄港地船主集落」についても、小中学生を対象とした学習体験や他町との交流で、子供の時から世界遺産と日本遺産が町にあることを認識させる事業を計画してはどうか。



▲白神山地ブナ原生林

31年目以降も、白神山地のPRに活用していく。これらの実施状況も見ながら十分に検討していく。

②各小学校の校外学習等で、円覚寺や風待ち館を見学している。鰯ヶ沢町と野辺地町では、小学3年生から6年生を対象に歴史や文学を学ぶ探検ツアーを実施しているが、本町も同様の事業を実施できるか検討していく。また、北前船寄港地三港連携事業として、鰯ヶ沢町、野辺地町と連携して北前船に関するパネル展やスタンプリーを行って今年度で3年目となる。



答 町長 自治体の休暇制度は国家公務員に準ずるべきものとされており、「職員は公務優先が原則であり、安易に特別休暇を増やすべきではない」とする国の考え方もあることから、導入の是非については地域のニーズを十分理解しつつ、職員が休暇を取ること、どのような地域貢献ができるのか、自治会などの意見も聞きながら慎重に検討したい。

問 大高議員 町職員が、自治会や自主防災活動、各種サークルなど地域貢献活動ができる休暇を創設すべきと思うが。

地域活動休暇を
町職員に

わが町のここが聞きたい

④空き家の活用は、活用可能な物件情報をいかに拾い上げることができるとに尽きる。現在、五所川原圏域で行っている空き家バンクへの登録を推進するため、広報紙への掲載、固定資産税の納税通知書にチラシを同封するなど情報発信を図っている。

まずは、活用可能な空き家の情報収集を進め、次年度以降の空き家活用事業の実施につなげたい。

⑤本町ではこれまで、特定空家として認定されていない空き家であっても「準特定空家」とし、特定空家と同様に解体費の一部を助成するなど、特定空家化の未然防止に努めてきた。

今後も、国の強化事項に基づいて空家等対策計画を見直し、管理不全空家の特定空家化の防止に努めるとともに、空き家の管理の確保や活用の拡大について、方策を探りながら進めていきたい。



問 町長 国や県、近隣市町村の動向を注視しながら補助制度を検討していく。また、令和5年8月末現在で聴覚障害6級以上は30人で、制度により補聴器を購入した方は、令和元年度から令和5年8月末までで27人（延べ32件）で、これらの補聴器購入費用に対して、総額142万円を補助している。

問 八木議員 加齢性難聴者の補聴器購入助成制度の創設を検討してほしい。

また、聴覚障害6級以上の方で、制度により補聴器を購入している人数は。

高齢者の補聴器購入の助成を



会計年度任用職員に処遇改善を

問 八木議員 ①会計年度任用職員には、いろいろな職種がある。一般事務職とは異なる技術職の給料表は何を適用しているのか。

②本年4月、自治体で働く非正規職員（会計年度任用職員）のボーナスを拡充する改正地方自治法が可決、成立した。支給するかの判断は各自治体に委ねられたが、せめて最初は、一般職の半分程度でよいので支給できないか。

答 町長 ①一般事務補助のほか、医療関係や教育関係、技能労務関係などの会計年度任用職員があり、報酬額は全て一般行政職における給料表の職務級の俸給月額を適用の基礎としており、それぞれの職務の内容や責任の程度、必要となる技術及び職務経験等を考慮しつつ、民間企業の給与水準の状況等を踏まえ職種ごとに定めている。

②令和6年4月から会計年度任用職員に対しても勤労手当の支給が可能となった。本町も令和2年度の制度開始当初から期末手当を支給し、令和4年度からは一般職と同様の支給率まで引き上げたが、今回、支給が可能となる勤労手当も県の取扱いとの均衡や適正な処遇の確保の観点から、支給が適当であると考え、具体的な支給方法は、常勤職員に適用される人事評価制度を基本としながら、成績率や在職期間割合等については、地域の実情や任用形態などを踏まえて判断したい。



わが町のここが聞きたい

問 どう対処する 空き家を

答 管理の確保や活用の拡大、方策を探る

やぎ
八木ふもと
史 議員

問 八木議員 ①条例に基づき、実態調査を行っていると思うが、最新の空き家の件数と特定空家等の認定件数は。

②空き家の所有者が分からないなどの困難な事例がたくさんあると思うが、どのように対処しているのか。

③空き家の近隣住民の苦情や相談の内容とそれに対する対応は。

④空き家は活用次第では人口減少対策、移住・定住等の促進など町の経済を活性化させる可能性を秘めていると思うが、今後、どのように対処していくのか。

⑤本年6月、法律の一部が改正され、適切な管理がされず、放置すれば特定空家になるおそれがある物件を新たに「管理不全空家」と定められた。今後、国の指針に基づき対処していくと思うが、その進め方等は。



答 町長 ①平成26年度に調査を行って、219戸の空き家があることが判明した。その後、毎年「建築保全業務現地調査」を行い、当初は延べ48戸を特定空家と認定していたが、その後解体されたものもあり、現在では29戸を特定空家に認定している。

②所有者が分からない空き家等に対しては、「空家等対策の推進に関する特別措置法」の規定により、固定資産税の課税等で利用している方や、その他所有者等に関する情報を活用し、関係する自治体に住民基本台帳情報や戸籍情報を請求するなど把握に努めている。

③苦情や相談があったらすぐに現場を確認し、所有者等へ修繕等を促す連絡をしている。また、所有者等が不明あるいは遠くにいる場合は、危険回避等のため早急に対応が必要と判断した際は、消防署等へ応急処置を依頼するなどの対応を取っている。

いる。

また、所有者等が遠くにいる場合や、複数人いる場合にも固定資産税等の情報を元に把握し、文書等により指導・勧告等を通している。

しかし、通知しても全く反応のない所有者等についても、年に1回は指導・勧告等を再通知している。

◆議案第18号
工事の請負契約の件
工事名
深浦町（沢辺）地区漁村整備工事
請負代金 8910万円
契約の相手方
山大機電株式会社（青森市）
代表取締役 菅原 博充

◆議案第19号
工事の請負契約の一部変更の件
工事名
深浦地区（風合瀬漁港）水産物供給基盤機能保全工事
請負代金の変更
変更前 7843万円
変更後 9660万円
契約の相手方
株式会社 三浦建設
代表取締役 三浦 聖芝

◆議案第20号
西北五環境整備事務組合への加入の件
西北五環境整備事務組合に加入することについて、関係地方公共団体と協議するため

◆報告第1号
専決処分した事項の報告及びその承認を求めるの件
7月15日発生の大雨に伴う災害復旧のため、特に緊急を要し時間的余裕がないことから、7月31日付で一般会計8億4487万円追加補正予算の専決処分を行った。

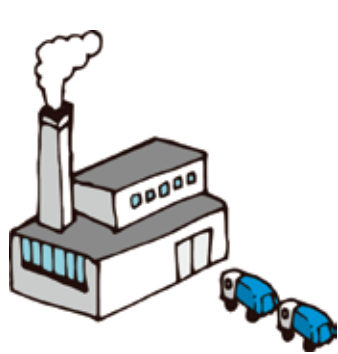
◆報告第2号
専決処分した事項の報告の件
西海岸衛生処理組合規約の変更に伴い、関係する町と協議するため。

◆報告第3号
健全化判断比率報告の件

◆報告第4号
公営企業資金不足比率報告の件

◆報告第5号
令和4年度一般会計継続費精算報告の件

◆報告第6号から8号
深浦町が出資している法人の経営状況について
令和4年度（一財）深浦町



◆報告第1号
専決処分事項の指定についての一部改正について
議会が指定する町長が専決処分することができるとする事項に「8 西北五環境整備事務組合の規約の一部を改正すること」を追加する。
提出者 岩根 環議員
賛成者 藤田一則議員、今 勝吉議員、岩谷 司議員

◆報告第9号
深浦町教育委員会事務の点検及び評価報告の件
食産業振興公社500万円、(株)ふかうら開発260万円が赤字、しらかみ十二湖(株)439万円の黒字



◆報告第2号
インボイス制度の実施延期を求める意見書
陳情項目 10月1日から導入されるインボイス制度の実施延期を求める。
提出者 岩根 環議員
賛成者 大高恒藏議員、藤田一則議員、今 勝吉議員、七戸 仁議員
提出先 衆議院議長、参議院議長、内閣総理大臣、財務大臣、経済産業大臣

◆報告第3号
議会議員定数検討特別委員会の設置及び委員の選任について
町の人口減少等に伴い、町議会議員定数が現状でよいか検討するため設置した。
委員長 今 勝吉
副委員長 岩根 環
委員 七戸 均、工藤博利、大高恒藏、岩谷 司

◆第127回定例会採決状況一覧 ※○賛成、×反対、欠は欠席、棄は棄権、議長(斉藤 登)は採決に加わらない。

議案等	八木史	七戸仁	福沢秀己	大川清光	岩谷司	岩根環	今勝吉	大高恒藏	藤田一則	工藤博利	七戸均	斉藤登	議決結果 (賛成：反対)
議案第1号～議案第8号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	—	認定（9：0）
議案第9号～議案第20号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決（9：0）
報告第1号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	—	承認（9：0）
報告第2号～報告第9号	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	報告
陳情第1号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	—	採択（9：0）
発議第1号～発議第3号	○	○	○	欠	○	○	○	○	○	欠	○	—	可決（9：0）

一般会計補正予算
2億6975万円を追加し
総額 88億2411万円

◆議案第9号
令和5年度一般会計補正予算
歳入歳出に2億6975万円を追加し、総額を88億2411万円とした。
【歳出の主なもの】
(万円未満切り捨て)
●総務費
・苗代沢地区住宅改修工事 550万円
●民生費
・県ひとり親世帯等臨時特別給付金 275万円
●衛生費
・新型コロナウイルスワクチン接種委託料 1046万円

●農林水産業費
・かそせいか焼き村LED化工事 500万円
●土木費
・町道等修繕料 435万円
・交通安全対策工事費増額 (町道北金ヶ沢17号線) 850万円
●教育費
・町民体育館LED化工事費増額 422万円

各地区集会施設
エアコン等備品購入費
2648万円を追加

◆議案第17号
深浦町犯罪被害者等支援条例
犯罪被害者等が受けた被害を早期に回復又は軽減し、安心して暮らすことができる社会の実現に向けて支援する必要な事項を定める。

◆議案第10号から第16号まで
令和5年度特別会計・企業会計補正予算（万円未満切り捨て）

会 計 区 分		補 正 額	総 額
議案第10号	国民健康保険（事業勘定）	1437万円	11億4527万円
	（直診勘定）	1290万円	2億8760万円
	後期高齢者医療	87万円	1億5757万円
	介護保険	4106万円	16億3766万円
	訪問看護ステーション	305万円	1655万円
議案第14号	下水道	638万円	2億5428万円
議案第15号	財産区	10万円	60万円

会 計 区 分		補正予定額	総 額
企業会計	議案第16号 水道事業	収益的 支 出	687万円 4億145万円
		資本的 収 入	4027万円 2億5027万円
		資本的 支 出	5220万円 4億6331万円



11月1日(水)
岩手県洋野町にある(一社)岩手県栽培漁業協会種市事業所へ岩谷委員長ほか3人の委員に山本農林水産課長、工藤農林水産課長補佐が同行し、現在、北金ヶ沢漁業振興会で取り組んでいるナマコの人工種苗試験における飼育方法や原生動物による食害などの課題解決を目的に視察を行った。ナマコの種苗生産について

ナマコ種苗生産技術調査

産業建設常任委員会視察

は、まず天然の親ナマコから採卵し、幼生飼育から30ミリメートルの稚ナマコになるまで育ててから出荷する過程や飼育に係る課題について竹高所長心得から説明をいただき、町への政策の提言・立案の参考となった。

ウニの蓄養オンラインストア調査

11月2日(木)
岩手県大船渡市の東部にある綾里漁業協同組合で実施しているウニの蓄養について、岩谷委員長ほか3人の委員に山本農林水産課長、工藤農林水産課長補佐が同行して視察をした。和田代表理事組合長、川上参事、佐々木総務課長から、ウニ蓄養事業と綾里産ウニのネット販売の説明を聞いた。このウニの蓄養は、岩手県の「黄金のウニ収益力向上推進事業」を令和2年度から



2年ほど受託し、磯焼けで海藻が不足し身入りが悪くなった「瘦せウニ」を海中から採捕し、使われなくなったアワビの蓄養施設へ移して大きくさせて、更に24時間LEDライトを当て、成熟期(放精・放卵)を遅らせ、天然ウニの品薄期に高値の販売を行っており、町への政策の提言・立案の参考となった。

あおりマッチングシステム調査(県こどもみらい課)

11月8日(水)
岩根委員長ほか3人の委員と斉藤議長が県こどもみらい課に赴き視察を行った。県担当者から青森県の少子化の現状、AIを活用したマッチングシステムの取組や課題、その他の子育て支援事業の説明をいただき、町への政策提言・立案の参考となった。



移住・交流ポータルサイト調査(県地域活力振興課)

11月9日(木)
岩根委員長ほか3人の委員と斉藤議長が県地域活力振興課に赴き視察を行った。県担当者から青森県を取り巻く環境(人口減少)の状況、人口減少対策(移住・若者の県内定着・還流)の取組や課題、その他の移住定住事業の説明をいただき、町への政策提言・立案の参考となった。



総務文教常任委員会視察

議員全員による行政視察



8月27日(日)
斉藤議長ほか9人の議員が世界遺産の活用について、2014年に世界遺産に登録されて以来、注目を浴び続けている群馬県の「富岡製糸場」を視察した。
富岡製糸場は、明治政府によって建設された当時の姿のまま、ノスタルジックな建物的人气を誇っており、この日も猛暑日の暑さのなか次々と見学者が訪れていた。また、

世界遺産「富岡製糸場」(群馬県富岡市)

富岡製糸場付近のカフェやお土産屋さんなども活気づいており、滞在型観光地の確立や回遊性の向上など、政策の提言・立案の参考となった。

木村前防衛大臣政務官との意見交換防衛省(東京都)



8月28日(月)
斉藤議長ほか9人の議員が防衛省の敷地内にある市ヶ谷記念館を視察し、その後に防衛省政務官室にて前防衛大臣政務官木村次郎衆議院議員との意見交換が行われ、国政や

政務官の業務、深浦町の現状と課題など多岐にわたり話し合った。

森が人をつなぐ町(山形県最上町)

10月12日(木)
七戸副議長ほか7人の議員が、深浦町と人口規模と森林率が同じ規模の山形県最上町で行っている森林資源を活かした木質バイオマスエネルギーの利活用と人口減少対策について視察研修を行い、町への政策の提言・立案の参考となった。



脱炭素・森林資源を活用(秋田県大仙市)



10月13日(金)
七戸副議長ほか7人の議員が、秋田県大仙市にある(株)大仙バイオマスエナジーで行っているバイオマス発電施設を視察した。ここでは、製材過程で出る端材や伐採現場の残材などを積極的に余すことなく焼却して、そこで発生した蒸気タービンを回し発電する取組を行っている。森林を有効活用することで、雇用の創出、エネルギーの提供、脱炭素、林業や地域の活性化など、町への政策の提言・立案の参考となった。



議会広報編集委員会視察

9 月 28 日（木）

岩手県金ケ崎町議会の議会だより編集について、斉藤議長（議会広報発行責任者）及び今委員長ほか 4 人の委員が視察した。

金ケ崎町議会の議会だよりは、全国町村議会広報コンクールにおいて、平成 25 年度の最優秀賞をはじめ、平成 17 年度から毎年受賞している。

編集に関しては、委員会の委員が丸となつてそれぞれの役割をこなしており、中学生が読んでも理解できる「ありのままに解りやすく」、議会の事務局に頼らない「議員の力」で、議会定例会翌月の「ス



▲金ケ崎町役場庁舎



「リード発行」をモットーに編集している。また、表紙や「まちの声」として町民主役のページなど議会と町民との意思疎通ができる編集にも心掛けており、参考にしていきたい。

グリーンパワー 深浦風力発電事業 現地視察説明会

8 月 2 日（水）

斉藤議長ほか 9 人の議員が、令和 6 年 2 月から商業運転開始予定の深浦風力発電事業について、株式会社グリーンパワーストメントの主催で説明会が行われ、整備概要と進捗等について説明を受け、黒木地区と風合瀬地区で建設中の現場などを視察した。



深浦町議会第 128 回臨時会

◆議案第 1 号

令和 5 年度一般会

計補正予算



10 月 17 日（火）に開催された本臨時会は、物価高騰対策支援事業及び県子ども・子育て世帯応援金給付事業に係る経費 486 2 万円を既定の予算に追加し、総額 88 億 7 274 万円とし、採決の結果、原案どおり可決されました。

深浦町議会第 129 回臨時会

◆議案第 1 号

工事の請負契約の

件



11 月 6 日（月）に開催された本臨時会は、工事の請負契約の件 1 件が提出され、採決の結果、原案どおり可決されました。

工事名 深浦町（風合瀬）地区

漁村整備工事

請負代金 7700 万円

契約の相手方

株式会社 三浦建設

代表取締役 三浦 聖芝

議会広報編集委員会

委員長	今 勝吉	副委員長	七戸 仁
委員	大高恒藏	委員	岩谷 司
	大川清光		福沢秀己

（発行者）議 長 斉藤 登

議会に対して、ご要望・ご意見がありましたら、議会事務局あてにご連絡ください。

電話番号（代）74-2111（内 202）
（直）74-4418